

☆ 議会だより

# かみまち



元気にワッショイ！  
(7/12 みやざき園夏祭り)

議会中継はこちらから

加美町議会映像配信

検索

<http://www.kami-town.stream.jfit.co.jp/>

## 6月定例会・7月臨時会

- 高齢者向け住宅を建設します ..... P2
- 寺子屋 新たな取り組みへ（補正予算） .. P4
- 一般質問 町政を問う（9人が質問） .. P6
- 候補地の白紙撤回を（7月臨時会） .... P16
- 田代岳の不適地を確認（委員会レポート） .. P17
- あれからどうなった（追跡シリーズ） .. P18

# 6月 定例会

6月定例会は6月11日から13日までの3日間開催しました。  
一般質問では、9人の議員が町の対応を問いました。  
議案審議では、工事請負契約や平成26年度補正予算案など町長提案の15議案と議員提案1議案の計16議案

が提出されました。  
議員提案の放射性物質の持込み拒否及び原子力関連施設の立地拒否に関する条例は特別委員会に審査が付託されましたが、町長提案の15議案については、全て全会一致で原案のとおり可決して閉会しました。

## 定例会で審議した内容

|         |       |    |
|---------|-------|----|
| 条例      | ..... | 1件 |
| 報告      | ..... | 7件 |
| 専決処分    | ..... | 2件 |
| 契約      | ..... | 3件 |
| 土地の購入   | ..... | 1件 |
| 一部の事務組合 | ..... | 1件 |
| 補正予算    | ..... | 1件 |

## 高齢者 向け住宅

# 安心・快適な生活を支援

## シルバーハウジング着工 1億540万円

シルバーハウジング完成予想図



**加美町営北原住宅シルバーハウジング**は既存の北原住宅の敷地北側の空き地に、平成26年度内の工事完了を目指して建設されます。  
1戸当たりの床面積は45㎡程度で、8世帯の高齢者が入居できる木造平屋建ての集合住宅になります。  
また、生活援助員の事務室や入居者の交流の場であるLSA室のほか、入居者の安全安心に配慮し、緊急通報シス

テムなども設置されます。  
5者を指名して6月5日に指名競争入札が行われ、(株)藤建設が1億540万8000円で落札しました。  
予定価格が5000万円以上の工事請負契約を締結するには議会の議決が必要です。  
慎重に審議した結果、全員賛成で可決しました。  
なお、入居者の募集は来年1月頃に行い、平成27年度から入居可能になる予定です。

### 問

完成予想図の設置は。

### 答

業者と相談したい。

### 問

通学時の交通安全対策は。

### 答

既存の住宅地内であり、十分配慮していきたい。

### 問

町長は常々地元産木材の利用について話されているが、シルバーハウジングにはどれくらい地元産木材を使用するのか。

### 答

加美町産木材は約94㎡使用する予定。  
仕様書でも地元産木材を含めて、宮城県産木材を40%以上使用してもらうようにしている。



## シルバーハウジングを建設する場所



## 土地購入

# ケイテック(株)から土地を購入

ケイテック(株)が所有する1万7444㎡の土地を2億334万円で購入することに同意しました。

購入した土地は一部を残して、アスカカンパニー(株)に売却する予定です。

同社は町内孫沢地区で操業をしています。雁原地区に新工場を建設することによって、生産力の向上と雇用の拡大が期待されます。

**問** 購入後すぐに売却する予定とのことだが、町が中間に入るメリットは。

**答** 企業側の所有地の改善・合理化と町が企業用地を取得したいという同意に基づいている。メリットは特にない。

## 議員提案

# 放射性物質の持込拒否などに関する条例

提案者 三浦 進  
賛成者 木村 哲夫

## 特別委員会に審査付託

町を放射能の汚染から予防し、自然と調和した町の発展を目的とした、放射性物質の持込み・原子力関連施設の立地を拒否する条例案が議員提案により提出されました。

加美町環境基本条例の前文には、豊かな自然環境を破壊することなく、よりよい環境を創造して未来の子どもたちにつないでいくと規定されています。

しかし、福島第一原子力発電所の事故に伴う放射性物質の処理については国が方針を示し、県内でも最終処分場問題などが協議されている状況にあります。

本条例の実効性や上位法との関係などを精査するため、条例案の審査を指定廃棄物に関する特別委員会に付託しました。

|                    |            |
|--------------------|------------|
| 取得面積合計             | 17,444.71㎡ |
| ① アスカカンパニー(株)への売却分 | 13,332.08㎡ |
| ② 町有地として取得分        | 4,112.63㎡  |

# 子屋を開設します

正算  
補予



Pick up1

学び支援コーディネーター

264万円

## 小・中学校区単位で開催

今年は夏休みに5日間、冬休みに3日間ほど小・中学校区単位で開催します。  
児童生徒の長期休業期間に合わせて、大学生などが宿題や子どもが勉強したいものを教えてくれる寺子屋を開設するための予算を可決しました。

寺子屋は児童生徒の学習支援に加え、交流を促進することによって学力を向上させるために、平成24年度から実施しています。  
冬休みには学び支援講演会として「大人の寺子屋」を開催する予定です。

問

寺子屋について広報紙以外での周知方法は、また、利用状況は。

答

平成24年度は延べ920人、平成25年度は延べ1124人の児童生徒が利用している。

問

寺子屋の利用者拡大に向けて工夫とは。

答

今年は小・中学校区単位で開催する。  
また、「放課後の寺子屋」と題し、天文や自然、加美町の博物学に関する内容での開催を検討している。

Pick up2 宮崎地区商店街活性化対策

216万円

宮崎地区の買物拠点整備を検討します

問

宮崎地区商店街活性化に向けた計画策定業務の委託先とは。

答

美しい町並みづくりで協力していただいている早稲田大学の後藤先生にお願いします。



まちづくりセンター・旧山田屋旅館を活用

## 平成26年度各種会計補正予算

| 会計別  | 補正額     | 予算総額       | 財源内訳                                   |
|------|---------|------------|----------------------------------------|
| 一般会計 | 1億543万円 | 135億7553万円 | 国・県補助金 9956万円<br>町単独 20万円<br>その他 567万円 |

# 今年も寺

### 補正予算の主な内容

|          | 内 容               | 補正額     |
|----------|-------------------|---------|
| Pick up1 | 学び支援コーディネーター      | 264万円   |
|          | 薪ストーブ導入への助成       | 90万円    |
|          | 臨時福祉給付金           | 7527万円  |
| Pick up2 | 子育て世帯特例給付金        | 2429万円  |
|          | 宮崎地区商店街活性化対策      | 216万円   |
|          | 農地・水保全管理支払交付金     | 969万円   |
|          | ボラテック東北(株)周辺の環境整備 | 450万円   |
| Pick up3 | 町道の維持修繕           | 456万円   |
|          | 旧上多田川小学校の校庭を整地    | 100万円   |
|          | 健康診断用器具の滅菌器を購入    | 28万円    |
| Pick up4 | 予備費               | ▲4611万円 |



#### Pick up4 健康診断用器具の滅菌器を購入

## 28万円

### 健康診断用器具の衛生対策を充実します

**問** 滅菌器の配置と対応をどのように考えているか。

**答** 現在、中新田中学校に1台配置している。新たに小野田中学校へ配置し、小野田・宮崎学区の対応を考えている。



拡充される衛生対策

#### Pick up3 旧上多田川小学校の校庭を整地

## 100万円

### 傷んでいる校庭の整地を行います

**問** 旧上多田川小学校の校庭の管理や整備を今後どのように考えているか。

**答** 跡地の利用が決まるまでは、地域住民の使用に支障がないよう管理を進めたい。



住民が使いやすいような整備に期待



# 町政を問う

## 9人が質問



学校法人慈園学園

### 中新田幼稚園

ゆり組・きく組のおともだち

ご協力ありがとうございました。

似顔絵を  
かいてくれた  
おともだち



#### 沼田 雄哉 (ぬまた ゆうや) 7ページ

1. 新庁舎建設の今後の取り組みは
2. 候補地問題の今後の展開は



#### 三浦 又英 (みうら またひで) 12ページ

1. 若者を呼び戻す、呼び込む施策は



#### 早坂 忠幸 (はやさか ただゆき) 8ページ

1. 消滅可能性都市からの脱却は
2. 東電への賠償請求額は



#### 木村 哲夫 (きむら てつお) 13ページ

1. 消滅可能性都市にも含まれているが



#### 伊藤 由子 (いとう ゆうこ) 9ページ

1. 国は50億円を提示しているが
2. 観光協会に期待する役割は



#### 高橋 聡輔 (たかはし そうすけ) 14ページ

1. 適正管理の条例制定は



#### 一條 寛 (いちじょう ひろし) 10ページ

1. 水路、河川での消防用水の常時確保は
2. 地域包括ケアシステムの構築は
3. 土曜授業の充実は



#### 工藤 清悦 (くどう せいえつ) 15ページ

1. 森林資源の地産地消は
2. 健やかで幸せな地域の実現は



#### 味上 庄一郎 (みかみ しゅういちろう) 11ページ

1. 子育て世代への町有地の分譲は
2. 詳細調査を受け入れて、堂々と不適地を示しては



沼田 雄哉

## 庁舎問題

# 新庁舎建設の

# 今後の取り組みは

町長

できるだけ早く着手したい

問

耐震補強工事と並行して新庁舎建設の議論を進め、町民や議会と妥協点を見出す必要があると思うが。

町長

来年度からの10年計画の見据えた町総合計画の策定に取り組んでいる。庁舎のあるべき姿や住民投票制度についても議論されると思う。住民の意見を十分に取り入れながら進めたい。

問

新庁舎の完成時期はいつ頃を目指しているのか。

町長

できるだけ早く新庁舎建設に着手したい考えはある。

しかし、条例改正に必要となる議員の3分の2以上の賛成や震災復興期による資材の高騰、最終処分場問題など条件整備や直面している課題などを勘案すると、まだその時期に至っていない。

問

昨年3月の町議会議員選挙後、役場の位置を定める条例改正案が一度も提出されていない。

一度提案し、その結果を受けて次に進むべきと考えるが。

町長

この問題に関して、慎重に進めていく必要がある。

現時点では、役場の位置を定める条例改正案を提案する予定はない。

## 最終処分場

# 候補地問題の今後の展開は

町長

町民一丸となって反対し、白紙撤回を求める

問

指定廃棄物最終処分場候補地の選定に関して、国に提出した質問状や関係三者会談での質問に対する国の回答はどのようなものか。

町長

田代岳は候補地の基準を満たしていないことを訴えてきた。

しかし、国はその非を認めようとせず、強引に全てのことを詳細調査に結びつけようという姿勢である。

納得できる回答や誠意のある回答は全くない。

問

町が実施した独自調査に基づいた住民説明会を開催するのか。

町長

6月20日と27日に田代岳の現地視察会を開催する。

また、断固反対する会が主催する住民説明会が6月28日にバツハホールで開催される予定である。町民一丸となって反対を進め、候補地に選定されたことの白紙撤回を求めていく必要があると思っている。



環境副大臣による現地視察時の町民の訴え



早坂 忠幸

# 消滅可能性都市からの脱却を

町 長 中期・長期的に見た対策が必要

まじまち

## Check

### ※消滅可能性都市

2040年までに20歳未満の若年女性が半減し、行政機能の維持が難しくなる自治体。全国896の自治体が該当すると試算されている。

## 問

日本創成会議が発表した30年後の※消滅可能性都市に加美町も該当している。

美しいまちなみ100年運動よりも30年後を見据えた予算の考えはないか。

## 町長

100年運動の目的は人づくりである。その中で、短期・中期・長期的な視野での取り組みが必要となる。

私たちは100年後にも責任があり、そういった視点で今後も町政運営をしていきたい。

## 問

今回の公表の目的は早く対策を打つことであり、国では戦略本部を設置して取り組むとしている。

加美町でも一体的に検討する場が必要であると考えている。

## 町長

今年度から本格的にこの問題について取り組み、町の行く末を中期的・長期的に見た対策を講じていく。

加美町の立地条件は決して悪くないし、さまざまな資源やすばらしい人材にも恵まれている。

ぜひ、この日本創成会議の予想を裏切るようなまちづくりをしたい。

## 放射能問題

# 東電への賠償請求額は

町 長

J A加美よつばが25億1200万円を請求

## 問

福島第一原子力発電所の事故に伴う町内の農林産物への被害額はどれくらいか。

また、各農家で保管している利用自肅牧草用フレコンバッグの配布が遅れているようだ。

## 林長

J A加美よつばで取りまとめ、東京電力に請求している額は25億1200万円である。フレコンバッグへの詰め込み作業の経費について、東電と合意ができていないため遅れている。

## 問

最終処分場については第1回目の市町村長会議で県内に1カ所設置することの同意を得たと、知事から環境大臣に文書が提出されているようだ。

## 町長

挙手などをもって賛意を表したわけではない。ほとんどの首長は発言しなかったというより、できなかった。そのことをもって承認されたというふうに知事が国に申し出たと思う。

## 問

第2回目の会議は町長1人出席のため会議録がないようだ。

## 町長

1人で出席した場合には当然担当に書類を渡し、口頭で報告をしている。

## 問

一時保管している牧草の焼却施設の誘致を行ったと聞いたが。

## 町長

農家が大変困っている問題であり、適正な処理について県や国に相談させていただいた。しかしながら、どれも実現することにはなかった。





伊藤 由子

## 最終処分場

# 国は50億円を提示しているが

町長

決して魂を売ることとはしない

**問** 最終処分場問題で町の質問に対する国の回答に見当違いなどはないかったか。

**町長** 田代岳は7・9haの更地であり、利用可能であると東北財務局から情報提供があったとの回答だった。東北財務局に確認したところ加美町に該当する土地はないとのこと、事実と異なる回答である。

**問** 国は現在の側溝や通路を潰すことで面積を確保することだが、環境への悪影響をたすべきでは。

**町長** 国は二ツ石ダム建設時に環境対策として設置された側溝や沈砂池を潰して面積を確保すると主張している。環境省が環境をないがしろにしており、厳しく追及していきたい。

**問** 50億円で町長はすでに手を打っているのではとの声も聞こえているが。

**町長** 5県で50億円、1県10億円である。お金の問題ではない。いくらお金を積まれようとも最終処分場を受け入れるつもりはない。決して魂を売ることとはしない。

## 観光振興

# 観光協会に期待する役割は

町長

観光ボランティアガイドの募集・養成など

**問** し、地域の魅力を発信し、自治意識を育てる意味でも、お祭りを地元主導の運営体制にするべきでは。

**町長** また、現在検討中の観光協会に期待する役割は。陶芸の里春まつりでは地域の若い方が中心となって企画・運営をしていただき、これまでにない盛り上がりを見せた。

お祭りの持ち方やあり方というものを少しずつ変えようと努力している。

**問** 観光まちづくり協会にはイベントの企画・受託・観光ボランティアガイドの募集・養成などの役割を期待する。

**町長** 若い人たちの工夫やアイデアに対して、その評価が届くようにしてはどうか。評価を次につなげていくことが大事である。

評価の仕方を工夫して実施していきたい。



若い力が結集された春まつり



一條 寛

消防対策

# 水路、河川での 消防用水の常時確保は

町 長

関係者との協議が必要で早期には困難



町の災害火消し役

**問** 水路や河川を活用し、消防用水を常時確保できないか。

**町長** 堰ごと<sup>せきごと</sup>に取水量が決められており、安定的な確保には新たに水利権の取得が必要である。また、複数年の調査や農業用水路の管理問題など関係者との協議が必要で早期対応は困難である。

**問** 住民の誰もが初期消火に当たれるように、街頭消火器を設置している自治体もあるが。

**危機管理室長** 街頭消火器の設置による長所・短所を精査して検討したい。

**問** 防火水槽・消火栓の増設の考えは。

**町長** 防火水槽の整備は毎年40トン級を1〜2基設置している。昨年度は小野田中学校の校庭、今年度は西川北行政区に設置予定である。増設は地元からの要請を加味しながら、消防署と精査して対応している。

**問** 地域の防火環境の理解と防火意識の向上を高めるためにも防災マップを作成する考えは。

**危機管理室長** 消防団や婦人防火クラブなどと相談しながら検討したい。

医療・介護

## 地域包括ケアシステムの構築は

町 長

地域の特性を踏まえて構築していく

**問** 地域包括ケアシステムの構築に向けた町の取り組みは。

**町長** 4月から設置された公立加美病院の住宅診療科をはじめ、医師会・歯科医師会と連携を取り、訪問診療の推進に努める。

また、各介護施設との情報交換会や介護予防講座の充実、地域での見守り活動などを推進している。

高齢者向け町営住宅としてシルバーハウジングも建設する。

**問** 現在の介護保険の運営状況と今後の保険料の予測は。

**保健福祉課長** 基準保険料は4600円で県内18番目。また、介護給付費の準備基金として1億200万円ほど保有している。国は2025年の1号保険料を全国平均で8200円と予測している。

**問** 認知症の早期発見と徘徊SOSネットワークづくりの考えは。

**地域包括支援センター長** 認知症を正しく理解してもらうため、認知症のサポート養成講座を実施したい。SOSネットワークについては加美警察署と連携し、情報の共有を行っている。

教育

**教育長** **問**

土曜授業の充実は。

教員の勤務体系などが整備されていないため、今後の検討課題と考える。



味上庄一郎

町長公約

# 子育て世代への 町有地の分譲は

町長

## 広原保育所跡地を分譲予定

**問** 市民オーケストラの進捗状況は。

**教育長** 5月24日に説明会を開き、44名の申込みがある。

年度内に披露したい。

**問** 子育て世代に町有地を分譲するとのことだが、具体的な土地は。

**町長** 広原保育所の跡地を第一弾として、80坪程度の宅地16区画前後

を見込んでいる。

平成27年度から募集開始予定である。

**問** 分譲は町外の方を優先するのか。

町内の方でも申し込みできるのか。

**総務課長** 町外、町内を問わず対象としたい。

**問** 平成19年の選挙公約に町長・副町長の

給与をカットし、そのお金で企業やボランティアを支援するとあったが。

**町長** 町の財政状況が大分回復しており、今はその考えはない。

**問** 来年の町長選挙に出馬する意向は。

**町長** 無欲無心で目の前の課題やまちづくりについて今後とも取り組んでいきたい。

最終処分場

# 詳細調査を受け入れて、堂々と不適地を示しては

## 町長 不適地になるとは限らない

**問** 栗原市・大和町と連携を図る考えは。

**町長** それぞれ反対と言っているが、若干考えが異なるので連携は難しい。

**問** 国の詳細調査を受け入れて、正々堂々と不適地を示しては。

**町長** 結果、3候補地とも不適地となり得るのでは。

3力所から1力所に絞り込む調査であり、全て不適地となるといえるのは甘い考え。

**問** 第1回の市町村長会議で県内建設への反対を表明できなかったのか。

**町長** また、議会に会議の内容などをその都度報告すべきではなかったのか。

**町長** 最終処分場問題は十分議論すべきと発言したが、知事から県内建設の是非についての話合いと制止され、反対表明ができなかった。

また、議会に説明するだけの情報は持ち合わせていなかった。



5月26日 第1回目の関係5者会談





三浦 又英

# 若者を呼び戻す、呼び込む施策は

町 長 雇用の場の確保と魅力あるまちづくり

**問** 人口減少の実態にどのような検討や施策を展開するか。

**町長** 以下の内容を検討している。

◇雇用の場の確保と所得格差の是正

新卒者を雇用した企業への奨励金制度の働きかけ、企業誘致による雇用の確保や質の向上に努める。

◇結婚推進

お見合いパーティーや後継者交流会の開催など出会いの場の提供。

◇アンケート調査に基づいた子ども・子育て支援と出生率の向上

安心して遊べる公園の整備計画の検討委員会を設置し、今年度中に具体的に進めていく。

また、特定不妊治療の助成を継続していく。

◇学校・教育環境の整備

たくましい子どもを育てることが最大の使命と考える。学び支援コーディネーター事業を充実させていきたい。

**問** 生活の安定や所得格差は正の面から、非常勤職員に賞与を支給するべきと考えるが。

**総務課長** 地方自治法で支給できないと定められている。

また、支給するべきではないという行政通達も来ている。

**問** 未婚・晩婚化対策として、結婚推進員の委嘱を行うべきでは。

**町長** 担当課に検討するよう指示する。



雇用の場の確保がまちづくりのポイント

**問** 終末医療病院は雇用にも医療にも効果が期待できると思うが。

**町長** 終末医療は今後の大きな課題の1つであり、検討していく。

**問** ※若給付型奨学金事業の趣旨に沿った教育は。

**教育長** 特に組み入れていないが、学業の探求や将来地域に貢献することを模範とするよう、各学校で声掛けしてもらう。

**問** 若者を呼び戻す、呼び込む施策が必要と考えるが。

**町長** 郷土愛の精神を、教育や家庭の中で培うことが基本である。

今年度進めている町の総合計画で施策を積み上げ、若者たちが町に戻りたいと思えるまちづくりを進めたい。

## Check

### ※若給付型奨学金

地域社会に貢献する人材を育成するため、特に学業の分野で極めて優秀な本町出身の学生を対象とした返済を要しない給付型奨学金。  
旧宮崎町出身で岩手大学名誉教授の海老澤公男さんからいただいた2千万円の寄付を財源としている。



木村 哲夫

# まちづくり

## 消滅可能性都市に含まれているが

町長

存続可能性都市だと確信している

**問** 日本創成会議が発表した消滅可能性都市に加美町も含まれているが。

**町長** 加美町は存続可能性都市だと確信している。

した。  
今後、共働き家庭の支援体制づくりに取り組んでいく。

**問** 魅力あるコンパクトなまちづくりへの考えは。

**町長** 出生率の向上対策や子育て支援策は。出産祝い金の増額や高校生まで医療費無料化を拡充し、子育て応援ガイドブックも作成

**町長** 町の魅力を発見し、資源を見直してもらう作業を進めている。歩いて用が足せるコンパクトなまちづくりは必要と考える。

**問** 環境保全に重要な役割を担うため、林業の振興が必要と考えるが。

**町長** 資源をお金の循環につなげることが重要である。

林業の振興に関して、今年度地元企業が木材の乾燥施設を設置することになった。  
安定した木材の供給体制づくりが大きく一歩前進したと思っている。



わたしたちのまちの明日を描くワークショップ

**問** 都市と農村の融合した魅力あるまちづくりに向け、国土利用計画や都市計画区域の見直しが必要と思うが。

**町長** コンパクトな町を考えた場合に、町なか居住や再開発という視点が重要である。

そういうことも視野に入れながら取り組みたい。

**問** 魅力あるまちづくり向け、職員の政策形成能力や合意形成能力を高めることが必要と考えるが。

**町長** 政策形成能力を高めるため、職員をまちづくりリーダー塾に派遣している。

また、合意形成能力も町の役割として非常に重要である。

**問** 町内の空き家について、Ｕターン者が住宅のリフォームを行う際の助成金などの優遇施策は考えていないか。

**町長** Ｕターン、Ｉターンも含めて、加美町に呼び込む必要がある。既存の資源である空き家をどう活用できるか、検討していきたい。

# 適正管理の条例制定は

町長 制定に向け検討中



高橋 聡輔



空き家対策について他自治体からも研修に来町

**問**

平成22年に調査した加美町の空き家の状況は。

また、その対策は。

**町長**

借家など適正に管理をされているものを除けば520戸あり、加美町の住宅総数の0.7%程度である。

空き家所有者を対象とした意向調査も行った。適正な管理に向け、現状の連絡や空き家バンクへの登録呼びかけなどを行っている。

**問**

空き家の所有者に對して、町はどのような指導を行っているか。

**町長**

管理方法や利活用に関するアンケートを行った。

空き家について何もしていないという回答が2割あった。

区長や住民から空き家の危険箇所の指摘があった場合には、所有者に連絡し適切な対応をお願いしている。

**問**

今後、空き家に関する調査を行う予定はあるか。

**企画財政課長**

地区の状況を把握している区長に空き家情報の聞き取り調査を行っている。

**問**

危険箇所の把握と空き家バンクは担当する部署が異なるが窓口を一本化できないか。

**町長**

他の自治体なども研究しながら、窓口の一本化も含めて検討していく。

**問**

空き家の適正管理に関する条例の制定や※行政代執行についての考えは。

**町長**

空き家の管理に関する所有者の意識啓発や利活用に向けた空き家バンクの有効活用、条例などさまざまなものを組合せて取り組む必要があると考える。

**企画財政課長**

行政代執行に関する費用の徴収が難しく、解体費用の助成を行っている自治体もある。

## Check

### ※行政代執行

国や自治体などの行政機関の命令に従わない人に対し、その本人に代わって行政機関側が強制的に撤去や排除をすること。

**問**

空き家対策における課題とは何か。

**企画財政課長**

建物が存在している間は固定資産税が6分の1に軽減されている。解体することによって軽減措置がなくなるため、空き家がそのまま放置される原因となっているようだ。



# 森林資源の地産地消は

町長

薪ストーブの普及や公共施設への町産木材の活用

**問** エネルギー・食料・森林などの地域資源の地産地消に取り組み里山経済の確立を目指すとしているが、具体的な施策とは何か。

**町長** 薪の駅構想の一環として薪ストーブの普及に取り組んでいく。また、公営放牧場やシルバーハウジングの建築資材にも町産木材を積極的に活用していく。

**問** 薪の駅実行委員会によると、鹿原地区の町有林10力所中9力所から高濃度の放射性セシウムが検出され、利用できないと報告されている。原材料の確保は。

**町長** 必ずしも鹿原地区に限定する必要はない。40ベクレル以下の町有林もあるので、それを利用したい。

**問** 薪の駅構想に限らず、商店街にぎわいづくりでもお金の循環や経済効果が実感できるシステムを早くつくる必要があると思うが。

**町長** 薪が流通する仕組みをつくり、実際にお金が生み出されるという点について、行政がなお一層、てこ入れをする必要があると認識している。



工藤 清悦

## 健康社会

# 健やかで幸せな地域の実現は

町長 健康習慣の確立など4本の柱で進める

**問** 健康社会の実現に向けたまちづくりの具体的な施策とは何か。

**町長** 健康習慣の確立、生きがいづくりの推進、歩きたくなるまちづくり、地域包括ケアシステムの構築といった4本の柱により健康社会の実現を目指していく。

運動の習慣づけや食生活の改善に向けた取り組みを進めていく。

また、ボランティア活動の推進に向けて、市民活動拠点センターの整備にも取り組んでいる。

**問** 町民が豊かに暮らせるまちづくりや町が抱えている課題解決に向けて、職員は自分の役割を把握する必要があると思うが。

**町長** まちづくりと自分の仕事の関わりを職員に理解してもらうことが非常に重要である。折に触れて、私の考えを全職員にメールで送信しており、理解は深まってきている。

職員が共通認識をもって仕事をしたい。努めていきたい。



健康社会ヘナイスボール

# 意見書・要望書の提出を可決

【起立採決 全員賛成】

7月  
臨時会  
(7月7日)



指定廃棄物の最終処分場は

宮城県に不要です

本町の田代岳が最終処分場建設候補地として提示されてから5カ月が経過し、議会でもこの問題を調査・検証してきました。

この間、国・県・3候補地による関係5者会談が4回開かれましたが、町主張は認められず、国は詳細調査を迫るばかりです。

議会では、今年の1月に候補地の除外を求める意見書を提出しましたが、選定の白紙撤回、特措法の見直し、適切な処理方法の検討という新たな視点から町の意志を表明するため、再度意見書・要望書を提出することを可決しました。

意見書・要望書の内容と提出先は以下のとおりです。

## 【内容（要約）】

環境省が選定した3候補地は地滑りなどの自然災害のおそれや自衛隊演習場の

隣接地など、どれも最終処分場建設の適地とは言えず、白紙撤回すべきである。

指定廃棄物による窮状は十分承知しているが、本町も被災地であり、町民一丸となって復興・復旧に努めてきたところである。

子どもが胸をはって育っている環境をつくりあげるため、指定廃棄物の問題は本来責任を負うべき人が負担するべきであり、以下の内容を強く要望する。

①候補地の白紙撤回  
②特別措置法と基本方針の見直し

③適切な処理方法における十分な国民的議論の展開

## 【意見書提出先】

内閣総理大臣・環境大臣  
衆議院議長・参議院議長

## 【要望書提出先】

宮城県関係国会議員16人

## 調査内容の中間報告

指定廃棄物に関する  
特別委員会

佐藤善一委員長

本特別委員会は宮城県における指定廃棄物最終処分場の選定経過について説明を求め、情報を共有することから開始しました。

まず、放射能を原因とする窮状を調査するため2回にわたり、関係16団体と意見交換を行いました。

「建設断固反対」「県内への建設の白紙撤回」など各団体からの悲痛な訴えを重く受け止めました。

また、田代岳の現地確認を行い、斜面の崩落や地滑りの発生など、最終処分場には不適地であり、候補地の基準を満たしていないことが判明しました。

我々は不測の事態に対する国の措置への不安が払拭できません。

今後、委員会では関係省庁に県内への最終処分場建設の白紙撤回に向けた要請活動を進めていきます。



# 指定廃棄物に関する特別委員会

## 住民団体などと意見交換会

4月30日

3月26日に開催した農漁業関係団体との意見交換会に続いて、区長会をはじめとする町内住民団体など8団体との意見交換会を開催しました。

最終処分場は「子どもの健康被害」「風評被害による経

済損失」「自然災害のおそれ」などから町内建設への反対意見が相次ぎ、県内建設白紙撤回に向けた働きかけの要望がありました。



## 田代岳の現地確認

5月26日

最終処分場の建設候補地である田代岳の現地確認を行いました。

田代岳付近は凝灰岩や泥岩による軟弱な地盤であり、強風による法面の崩落や地滑り箇所も多数ありました。

自然災害が発生する危険性が高く、最終処分場の建設には不適地であることを改めて確認しました。

## 関係5者会談の協議内容説明

6月13日  
7月7日

最終処分場の建設候補地の選定手法について、町が独自に検証した結果や関係5者会談での協議内容について、町長に説明を求めました。

田代岳は最終処分場の建設に必要な面積や傾斜基準など

を満たしていないため、候補地になり得ない場所であるとの結論に至り、今後は県内に建設することの白紙撤回を求める活動を進めることを確認しました。



## 中間報告・意見書案を協議

7月1日

特別委員会の調査内容の中間報告や意見書の提出、放射性物質の持込拒否などに関する条例について協議しました。

7月7日開催の臨時会で中間報告を行い、町民に委員会の調査内容を報告することや

意見書を関係省庁に提出することを確認しました。

また、放射性物質の持込拒否などに関する条例については条例の効力などを協議しましたが、結論には至らず、今後も検討を続けていきます。

## 国や国会議員に意見書などを持参

7月15日  
7月16日

7月7日に議決した意見書と要望書を国や宮城県関係の国会議員16人に持参して提出しました。

また、猪股町長も同行して井上環境副大臣に建設に反対する署名簿と47団体からの

要請書を提出しました。

田代岳は候補地の要件を満たしていないことを強く訴え、井上環境副大臣は「意見書・署名簿の提出を重く受け止める」と回答しました。





## あれからどうなった

vol.17

平成25年6月定例会の一般質問が、その後どう取り組まれたかをお知らせします。

## ■おおさきFMとの提携



**問** にぎわいづくり委員会の意見にFM放送局開設とあるが、平成25年6月15日におおさきFM放送が開局する。加美町としても、このおおさきFM放送と提携する考えは。

**答** プロジェクトチームでも検討したが、自治体は経営主体になれない。

大崎市でも放送局との提携を計画しており、町でもおおさきFM放送との提携を進め、イベント情報や災害情報の提供に活用したい。

その後



## 平日午前7時から83.5MHz

開局後すぐに、災害時に情報を放送できる協定を締結しました。

現在は、町のイベントや暮らしの情報も放送中で、月に一度町長が出演して町のPRを行っています。

## ■食物アレルギー疾患児への対応



**問** アレルギーを持つ小学生が給食を食べた後、死亡する事故が県外で起こった。

学校給食における事故防止に向けた取り組みは。

**答** 普通食とは別に除去食や代替食で調理し、トレイも色分けしている。配膳も職員間で確認し、手違いが起らないよう万全を期している。

国のガイドラインや先進地の対応を参考にして、独自のアレルギー対策マニュアルを今年度中に作成したい。

その後



## 町独自のマニュアルを作成

食物アレルギーを原因とする事故を防止するため、食物アレルギーへの対応手順や児童・生徒への指導、教職員の役割などを定めた町独自のマニュアルを作成し、各学校へ配布しました。

# 議会だよりモニター制度4年目へ



## 委嘱状交付

今年で「かみまち議会だよりモニター制度」を導入して4年目を迎えました。

5月15日にモニター委嘱状交付式を行い、昨年度から引き続き引き受けていただいた3人を含む、計18人に委嘱状を交付しました。

モニターからのご意見は、議会広報活動に大いに活用させていただきながら、これからも「おらが町の議会広報」として編集に努めていきたいと思ひます。

また、町民の皆さんからも議会だよりへのご意見・ご感想をお待ちしております。

## ●議長交際費内訳

(4月～6月)

| 月   | 件数  | 金額      | 内 訳    |
|-----|-----|---------|--------|
| 4月  | 4件  | 12,000円 | 会費     |
| 5月  | 5件  | 28,000円 | 会費・賛助金 |
| 6月  | 4件  | 11,000円 | 会費     |
| 合 計 | 13件 | 51,000円 |        |

情報公開

## 議会だよりへ一言

議会だより45号(平成26年5月1日発行)に対する議会だよりモニターからのご意見・ご感想を紹介します。

### モニター 表紙写真の様子を短文で説明しては

➡ 今回から「表紙写真の紹介」コーナーをつくりました。

### モニター 言葉の意味や内容がわからないのがあった

➡ 聞きなれない用語など「check」として用語解説をします。

8ページや12ページをご覧ください。

## “傍聴に来てけらいん”

議会定例会の日程は、開会前に各家庭にチラシを配布してお知らせします。

ぜひ、傍聴にお越しください。

### 議会傍聴された方

| 件 名   | 会 期       | 傍聴者数 |    |
|-------|-----------|------|----|
|       |           | 男性   | 女性 |
| 6月定例会 | 6月11日～13日 | 7    | 4  |
| 7月臨時会 | 7月7日      | 2    | 1  |

次回の定例会は  
**9月16日(火)**  
開会予定です

## 表紙写真の紹介



みやざき園  
夏祭り  
(7月12日)

台風による延期も心配されましたが、子どもたちの思いが通じたのか、雨もふつ飛び晴天にめぐまれた今年の夏祭り。

夏祭りのメインイベントであるパレードでは、大きな声で元気いっぱい「ワッショイ! ワッショイ!!」とのぼり旗を上げていました。



南町行政区は、国道457号と町道バツハ通りに囲まれており、加美警察署、みなみ児童館、東北陶磁文化館、縄文芸術館、加美町シルバ人材センター、加美自動車学校、中新田幼稚園など歴史と文化と人材育成の中心の市街地です。

行政区の活動は組織ごとに年間活動計画にもとづき実施しています。

振興会、老壮会、衛生組合、体育協会、安全安心パトロール隊、まちづくり協議会、婦人防火クラブ、交通安全母の会などそれぞれ地域内の自主的な活動を活発にしています。

学校指定の通学路が多いため、安全安心パトロール隊に登下校時の見守り協力をお願いしています。

今年度の新規事業の一環として、6月から毎朝6時30分の「ラジオ体操」に挑戦中です。幼児から90歳までの老若男女、犬も参加しています。挑戦開始から1カ月以上が経過しました。笑顔とあいさつのこの輪を大きくしていきたいと思っています。



## 宮崎エアロビクスサークル

## わねが仲間

私たちのサークルは、日頃の運動不足を解消、ストレス発散、ダイエットに楽しく！をモットーにサークルを立ち上げ、今年で13年目になります。現在、会員は11名です。

エアロビクスと聞くとほとんどの人が、レオタードを着て筋力トレーニングをした人が、アップテンポの曲に合わせて踊っていることを想像しますが、私たちは、気楽にできる初心者コースです。

そもそもエアロビクスは、日本語に訳すと「有酸素運動」ですから、ウォーキングやジョギングと同じです。音楽に乗ってウォームアップで体をほぐし温めてから、メインのエクササイズ、クールダウンまで60分。無理せず自分のペースで体を動かし、心地よい汗をかきます。

年一度、クリスマスの時期にはダンスエアロビで、Jポップなどの曲で動きを取り入れ楽しく踊ります。

ぜひ、気軽に体験してみてください。男性会員も大歓迎です。



代表 早坂 貴美代  
練習日 月3回 午後8時～9時  
場所 賀美石地区公民館  
連絡先 69-5806

## 編集後記

7月2日から三日間、議会広報の視察研修を行いました。愛知県幸田町・大口町は、ここ数年連続で全国入賞をしている大変優秀な議会であります。

平成19年に続く二度目の視察で、終始和やかに進みました。良いところを尊重し、足りないところを指摘し合い清々しい研修でありました。

私たち議員は、緊張感と同時に冷静な判断力をもって直面する課題に臨まなければなりません。

心に余裕をもち、ありのままを伝え多くの町民に読んでもらえる議会広報紙を目指し、今号の編集に生かすことができた研修となりました。

（味上 庄一郎）

### 議会広報編集調査特別委員会 編集委員

委員長 高橋 聡輔  
副委員長 伊藤 由子  
委員 早坂伊佐雄  
猪股 俊一  
工藤 清悦  
味上 庄一郎